

みらいトピックス



地域の活動が、SDGsにつながっています。

令和5年産田植え作業



J A管内で、5月中旬から下旬にかけて田植え作業が行われました。令和5年産は青天の霹靂が1,103畝、まっしぐらが2,305畝、つがるロマン436畝、はれわたり176畝の作付けを予定しています。

尾上地区の工藤憲男さんは5月15日、青天の霹靂の特別栽培米の田植えをしました。4月15日に播種し、草丈13センチ程度、葉齢3葉程度と生育順調な苗を息子の憲児さんが植えました。工藤憲男さんは「基準を守って水管理し、今年も品質の良いお米を作りたい」と話しました。

青森県特別栽培農産物認証制度での米生産は、化学肥料の使用を慣行の5割以下とし、有機肥料5割以上を施します。農薬使用回数（成分）は、「青天の霹靂」の栽培基準となっている慣行の1/2以内である10成分より少ない8成分で栽培します。



田植えをする工藤憲児さん

